

第352回

日文研フォーラム

International Research Center for Japanese Studies
The 352nd Nichibunken Forum

近代演劇の越境

— 欧陽予倩の日本交遊を手がかりに

講師 陳 凌虹

華東師範大学准教授／日文研外国人研究員

コメンテーター 劉 建輝 日文研教授

司会 戦 暁梅 日文研教授

2025年1月14日(火) 14時00分～16時00分 (開場13時40分頃)

場所…ハートピア京都 3階 大会議室 申込要・定員90名 (抽選による)

入場無料

主催…大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

差し色の名前…● 莉安 (かりやす) ● 紺青 (こんじょう)

近代演劇の越境—欧陽予倩の日本交遊を手がかりに

欧陽予倩（おうよう よせん、1889–1962）は、中国の近代劇（話劇）と伝統劇（京劇）の両分野に深い造詣を持ち、舞台上演、戯曲創作、演劇改革、俳優養成など幅広い領域で活躍した著名な演劇人です。1907年、日本留学中に留学生の演劇結社「春柳社」に参加し、東京で初舞台を踏みました。帰国後は上海を拠点に、井上紅梅、石井柏亭、田辺尚雄、谷崎潤一郎など、上海に滞在または訪問した日本の文化人と親交を深め、さらに度重なる日本訪問を通じて、世界の演劇をリアルタイムで吸収し、常に新機軸を打ち出しながら中国の演劇改革に取り組みました。本講演では、このような欧陽予倩の日本交遊を手がかりに、日中両国間における近代演劇の越境とその意義について考察する予定です。

講師 陳 凌虹 華東師範大学 准教授 / 日文研 外国人研究員



2012年総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻博士課程修了。学術博士。

2013年華東師範大学外国語学院講師、2018年より准教授、2024年8月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、近現代日中演劇交流史、日中比較文学比較文化。

主な著書に、『日中演劇交流の諸相—中国近代演劇の成立』（単著、思文閣出版、2014）があり、同書で2015年に第20回日本比較文学会賞を受賞。また『清末民初中日新潮演劇の跨文化詮釈与伝播』（単著、南開大学出版社、2023）や多数の論文を執筆。

コメンテーター 劉 建輝 日文研 教授



1990年 神戸大学大学院博士課程修了。文学博士。北京大学助教授、国際日本文化研究センター助教授、准教授等を経て、2013年より現職。専門分野は日中文化交流史。

主な著書に、『日中二百年—支え合う近代』（2012年）、『増補・魔都上海—日本知識人の「近代」体験』（2010年）、『絵葉書にみる日本近代美術100選』（編著、2024年）、『国際日本研究』コンソーシアム編『「国際日本研究」の現在地／知—ヨーロッパ・北米・アジアにおける現状と課題』（田村美由紀、西村真彦との共編、2024年）などがある。

申込方法

- ①イベント名 ②氏名（フリガナ） ③郵便番号・住所 ④電話番号（日中ご連絡がとれるもの）⑤メールアドレスを明記のうえ、申込フォームまたはハガキのいずれかにてお申し込みください。申込者多数の場合は、抽選を行います。
- 申込締切は 2024 年 12 月 12 日（木）正午必着。
- 結果は当落にかかわらずハガキにてお知らせいたします。（2024 年 12 月 25 日頃発送）
- 複数名で参加ご希望の場合は、全員分の必要事項（①イベント名 ②氏名（フリガナ） ③郵便番号・住所 ④電話番号（日中ご連絡がとれるもの）⑤メールアドレス）が必要です。

申込フォームの場合： <https://forms.office.com/r/kvuxe9Ex2X>

ハガキの場合：〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2

国際日本文化研究センター総務課広報係「日文研フォーラム」担当宛

※今後ハガキでのご案内を廃止する予定です。お申し込み時にはメールアドレスの記入・入力をお願いいたします。

※お預かりした個人情報は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構関連事業や国際日本文化研究センターが開催するイベント及び活動等のご案内に使用いたします。

申込フォーム



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口（地下鉄連絡通路にて直結）
- 京都市バス、京都バス、JR バス「烏丸丸太町」バス停下車

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 総務課広報係
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2
TEL: 075-335-2046
E-mail: forum@nichibun.ac.jp
<https://www.nichibun.ac.jp/>

日文研は、日本文化の研究を支える国際拠点です。

次回 第 353 回

日文研フォーラム

詳細が決まり次第、日文研ウェブサイトにてお知らせいたします。